

別紙

● 会館諸君へ 哀告す

本館公の考えて居る所中止せられり。要点のみ急ぎ御注意します

○ 此館協会と聯盟を以て捺印を求め居ります。但、遺囑を以て両方にドシク捺印せらるる事各位御得衆と行います。

協会雜誌三月号巻頭へ、

恒産のいもりに恒いのちる財管のい

と書いて居ます。生活苦、失業苦に喘いで居る者も「オレ」でからんを文句で捺印を求め居るは瀬戸内、漁師も金筋揃ひワロンと呼び込んで捺印をす以上愚昧をやり方の第三号を見たら余悉く酒債はありませぬ、コンナ華の組合の諒解を協会が豫妻するは自ら船買の指揮監督権も船内規律も即ち環はナモのやすから今後は一々組合の諒解をせしは動けなくなりませう。

コレが諸君は責任者として職責を完うします。 種を締めて好く考え下さい。

御参考資料、 三月号雑誌

第三十頁「寄」の字横にタマ居り第三十一頁には一般。「」が欠け居り第六十三頁の寄與、不

鮮明は例り通りマダ下ド、 *Sled View of* *Havins Back Field*

とあり、船具氏「印刷技術の優美」を如く現すと居ります。

至三冊目即迄赤字七、四、円五七銭、一年は持たせせんネ。

二月十日

茅原基治